



先端酵素学研究所 プロテオゲノム研究領域 特別セミナー

日時 2017年2月24日(金) 17:00~18:30

場所 先端酵素学研究所プロテオゲノム研究領域 1F 交流ホール

ゲノム研究と 医療応用の最近の動向

久保 充明 先生

理化学研究所 統合生命医科学研究センター 副センター長

■要旨■

ヒトゲノム解読完了を契機に、ヒトゲノム研究は急速に発展している。なかでも、多因子疾患に対するゲノム研究(GWAS)は、ほぼすべての疾患に遺伝要因が存在することを明らかにするとともに、多数の文字の違い(SNP)が関与する事を明らかにしてきた。すでに国際コンソーシアムにより、多因子疾患における頻度の高いSNPの関与はほぼ明らかになったと思われる。そのため、最近のヒトゲノム研究は、全ゲノムシーケンスデータを用いた解析や、すでにGWASで発見されたSNP情報に基づく遺伝子機能や疾患発症メカニズムの解明を目指した機能ゲノミクス研究へと移行しつつある。

今回の講演では、最近のゲノム研究の方向性や医療応用について概説する。

本セミナーは大学院医科学教育部特別講義を兼ねています。

大学院生、教員、学部学生等、興味を持つ全ての方のご来聴を歓迎致します。

お問合せ先：先端酵素学研究所プロテオゲノム研究領域 ゲノム制御学分野 片桐豊雅

tkatagi@genome.tokushima-u.ac.jp 内線：9477